資　料　1

東日本大震災津波復興委員会
第8回総合企画専門委員会の審議概要

1　開催概要

(1)　日時等

平成 24 年 7 月 24 日（火）15：00～17：06　サンセール盛岡「鳳凰」

(2)　審議事項等

①　総合企画専門委員会による現地調査の結果について（報告事項）

②　「復興実施計画」の見直しについて（審議事項）

2　審議概要

審議事項については、**委員からの意見を踏まえ、所要の修正**を行った上で、7 月 30 日の復興委員会に提出することとなった。

また、現在の復興への取組の課題を整理し、委員会として**「迅速な復興の実現のための提言」を取りまとめ**、7 月 30 日の復興委員会に報告することとなった。

審議中に出された主な意見は、次のとおり。

➢　**「復興実施計画」の見直しについて**

①　いわて復興レポート（案）

・　震災による沿岸部の**人口流出については、年齢や職業等転出者を分析し、対策を講じること**が必要。（豊島委員）

・　意識調査では多くの県民が復興に遅れを感じているが、県だけの取組で解決できるものではない。**国や市町村、民間など多様な主体が復興の担い手**であることを前提としたレポートとすべき。（広田委員）

・　意識調査では、**「どちらともいえない」や「わからない」は否定的評価と認識すること**が必要。また、ウォッチャー調査の回答者のコメントには現状が非常によく表れており、より深く分析することが必要。（広田委員）

②　復興実施計画（第１期）見直し（案）

・　実施計画は、国の予算等の状況が不透明な中で昨年８月に策定した。**計画をどのような視点で見直すのか（前提条件や背景が変化したことによるものであること）を分かりやすく記載すべき**。（広田委員、谷藤委員）

・　復興に向けた取組に関しては、「待ち」ではなく「攻め」の姿勢による一歩踏み込んだ支援が必要。また、**計画や事業については、進捗状況等に応じた支援や見直しが今後も必要**。（南委員）

- **迅速な復興の実現のための提言について**
  - **復興に積極的に取り組む若者**が生まれているので、**引き続き活躍できる場を作り、人材を育成**していくことが必要。（広田委員）

  - 出身者や支援者もメンバーという**拡大コミュニティの観点により復興を進めていくこと**も必要。そのためにも、基礎となる現在の地域コミュニティの維持や再建が重要。（広田委員）

  - まちづくりの議論の**合意形成に当たっては、住民サイドにもまとめる力がある人を付けること**が必要と考える。何らかの支援制度や仕組みを構築できないものか。（南委員）

以上